

# 2020年3月期 第2四半期決算概要

2019年11月5日

千代田化工建設株式会社

# 目次

---

1.	ハイライト	2
2.	業績概要	3
3.	受注高	4
4.	受注残高	5
5.	損益計算書項目	6
6.	利益要因別分析	7
7.	完成工事高	8
8.	バランスシート	9
9.	通期業績予想の内訳	10

# 1. ハイライト

- ◆ 手持案件を着実に遂行し、本業ベースの利益をしっかりと確保。
  - 完成工事高1,749億円(通期予想比進捗率45%)
  - 営業利益141億円(通期予想120億円を上回る)、純利益48億円(通期予想比進捗率80%)
- ◆ 営業利益の通期予想は190億円(+70億円)に上方修正、経常利益以下の利益は期首予想を据え置き。
  - 円高により外貨建債権にかかる為替差損<sup>(注)</sup>が発生し、営業外損益(▲72億円)を計上。
  - 第3四半期以降は、案件進捗に伴う損益変動(Risk & Opportunity)や経営環境の変化等を保守的に見積もっている。

(注)単体の外貨建債権の為替換算差額がPLに計上される一方で、子会社の外貨建債務の為替換算差額がB/Sの為替調整勘定に計上されるため、これらを総合的に勘案すると、当該為替差損は当社の本質的な企業価値を損なうものではありません。

## 2. 業績概要

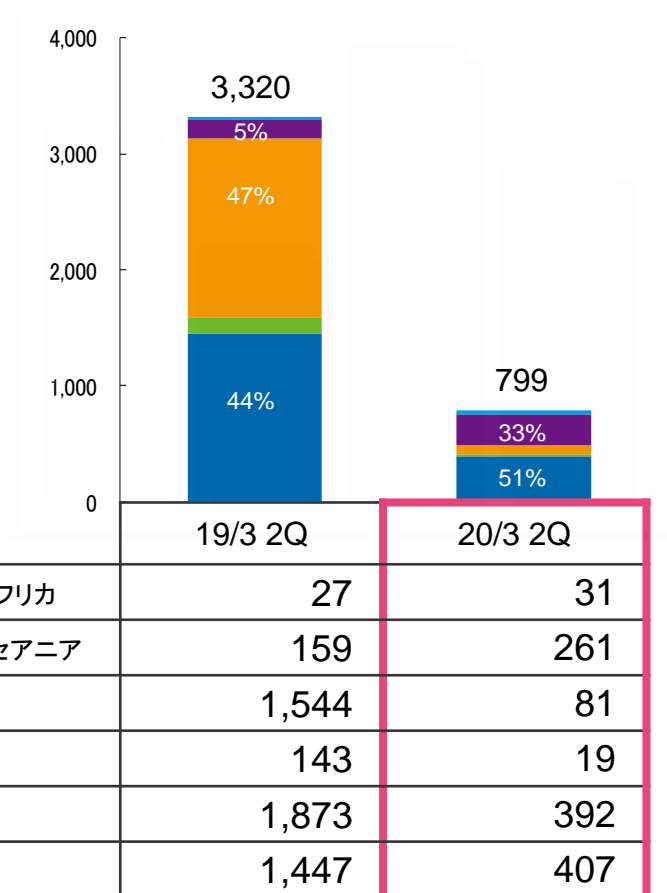
単位: 億円

	19/3 2Q	20/3 2Q	前年 同期比	伸び率	修正後 通期予想	達成率	修正前 通期予想
受注高	3,320	799	△2,521	△75.9%	5,500	14.5%	5,500
受注残高	8,327	9,045	718	8.6%			
完成工事高	1,464	1,749	285	19.5%	3,900	44.8%	3,900
営業利益	△963	141	1,103	—	190	74.0%	120
経常利益	△963	69	1,032	—	120	57.4%	120
純利益*	△1,086	48	1,134	—	60	79.8%	60
為替レート(円/\$)	114	108			105		110

\*親会社株主に帰属する四半期純利益

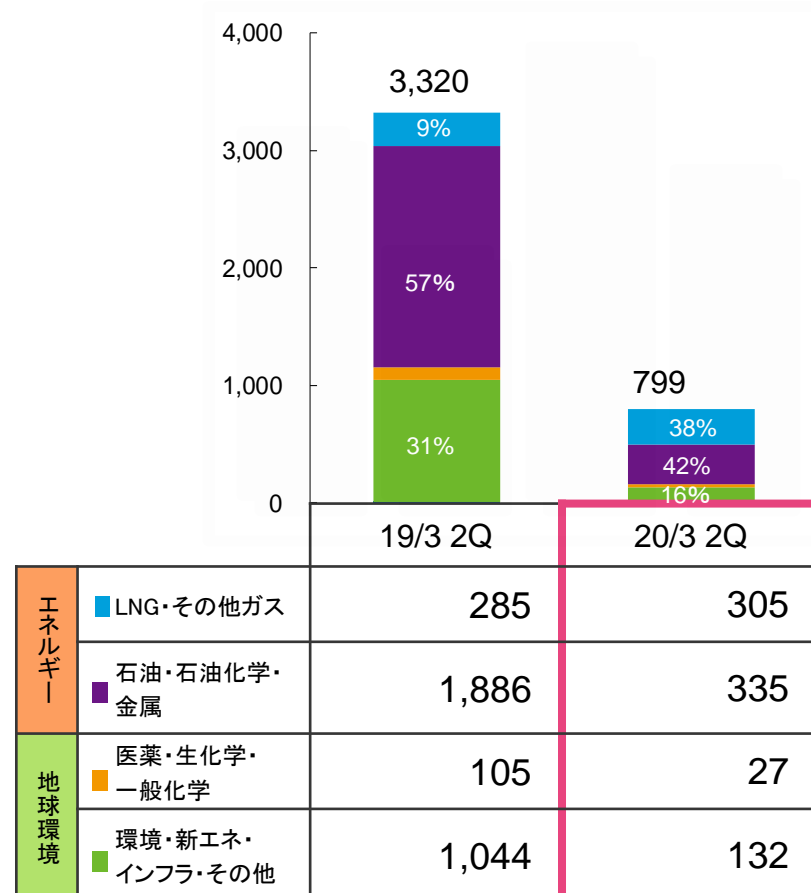
# 3. 受注高

## <地域別>



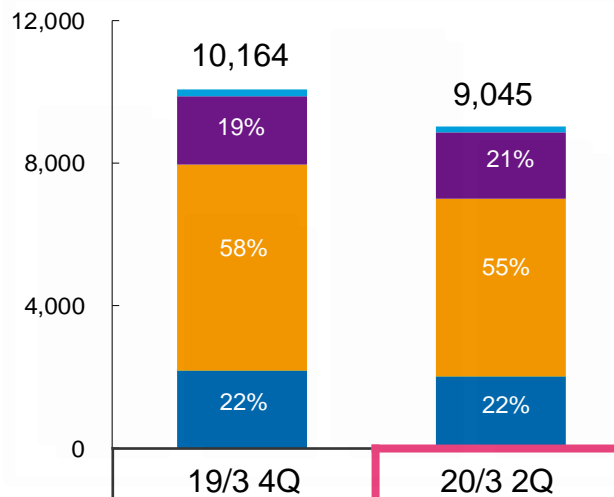
## <分野別>

単位: 億円



# 4. 受注残高

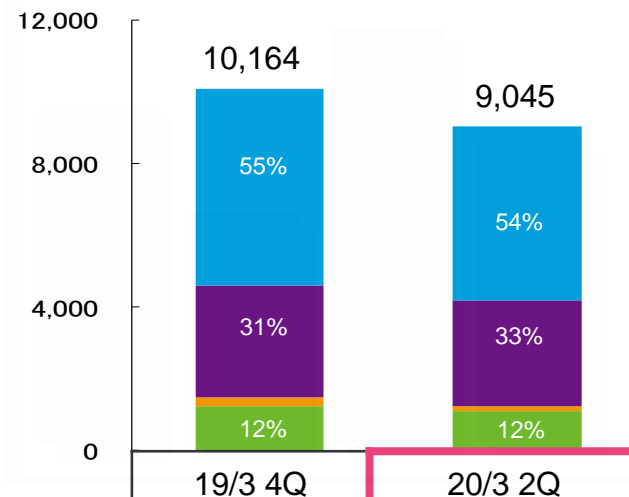
## <地域別>



■ 中近東・アフリカ	194	174
■ アジア・オセアニア	1,915	1,860
■ 北中南米	5,879	4,994
■ その他	1	1
海外 合計	7,989	7,029
■ 国内 合計	2,175	2,016

## <分野別>

単位:億円



エネルギー	■ LNG・その他ガス	5,575	4,856
	■ 石油・石油化学・金属	3,111	2,940
地球環境	■ 医薬・生化学・一般化学	240	140
	■ 環境・新エネ・インフラ・その他	1,238	1,109
海外 合計		7,989	7,029
国内 合計		2,175	2,016

## <主要案件>

	1,000億円以上	500億円以上	100億円以上
海外	ゴールデンパスLNG、テキサス・エチレン	タンダーLNG	キャメロンLNG
国内	-	-	バイオマス発電、蓄電池システム建設、石化案件

# 5. 損益計算書項目

単位: 億円

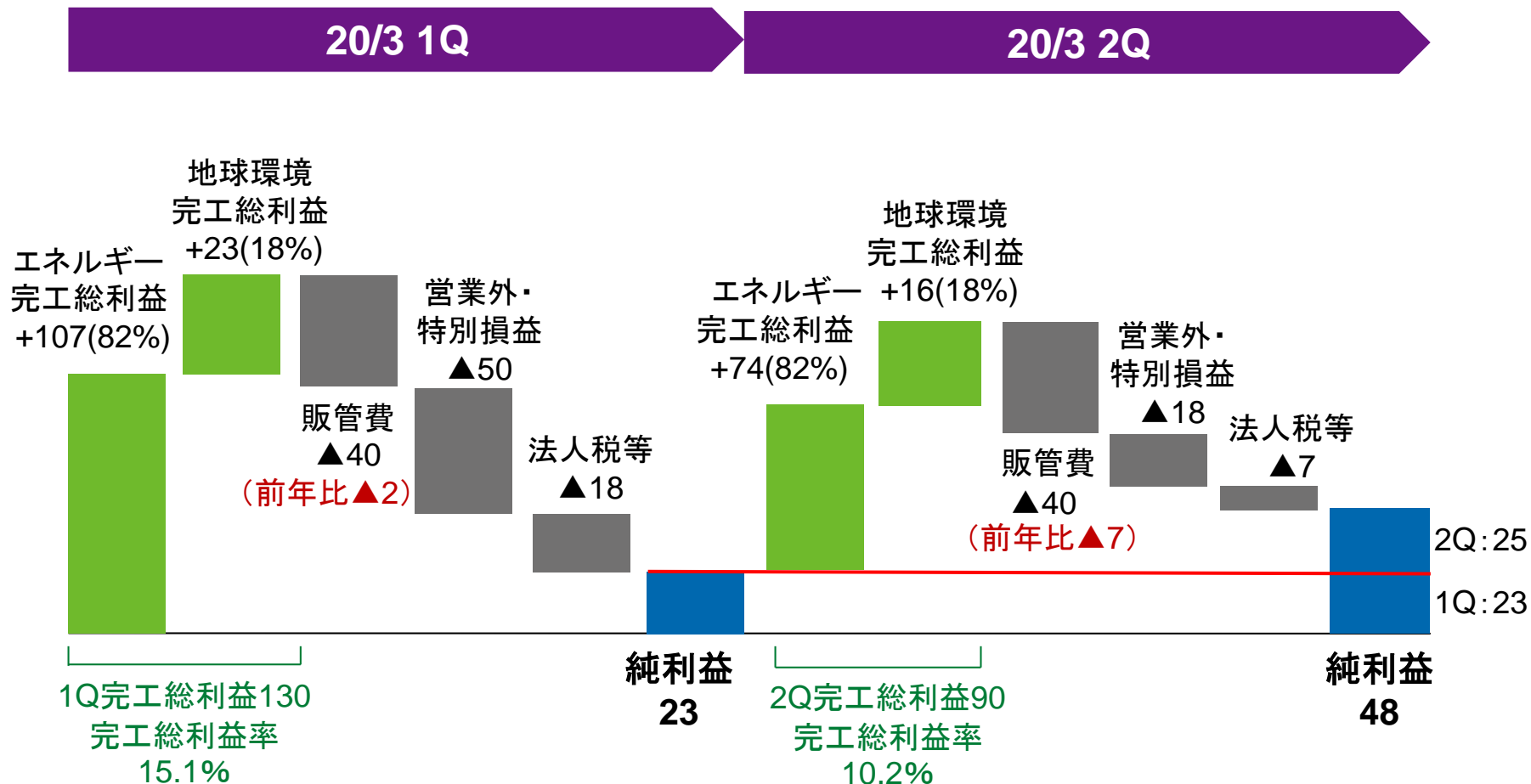
	19/3 2Q	20/3 2Q	前年同期比	修正後* 通期予想	修正前 通期予想
完成工事高	1,464	1,749	285	3,900	3,900
完成工事総利益	<b>△874</b> △59.7%	<b>220</b> 12.6%	<b>1,094</b> 72.3pt	360 9.2%	290 7.4%
販売費及び一般管理費	△89	△80	9	△170	△170
営業利益	<b>△963</b> △65.8%	<b>141</b> 8.0%	<b>1,103</b> 73.8pt	190 4.9%	120 3.1%
営業外損益**	△0	△72	△72	△70	0
経常利益	<b>△963</b> △65.8%	<b>69</b> 3.9%	<b>1,032</b> 69.7pt	120 3.1%	120 3.1%
特別損益・税金・非支配株 主に帰属する純利益	△123	△21	102	△60	△60
純利益	<b>△1,086</b> △74.2%	<b>48</b> 2.7%	<b>1,134</b> 76.9pt	60 1.5%	60 1.5%

\* 2019年11月1日公表

\*\* 単体の外貨建債権の為替換算差額がPLに計上される一方で、子会社の外貨建債務の為替換算差額がB/Sの  
為替調整勘定に計上されるため、これらを総合的に勘案すると、当該為替差損は当社の本質的な企業価値を  
損なうものではありません。

# 6. 利益要因別分析

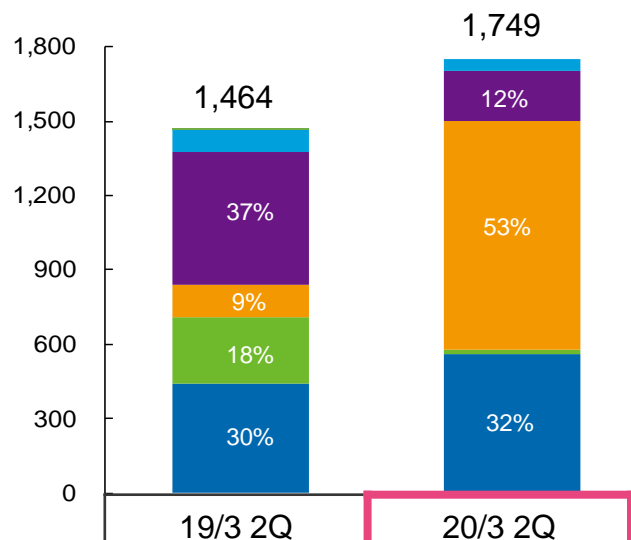
単位: 億円





# 7. 完成工事高

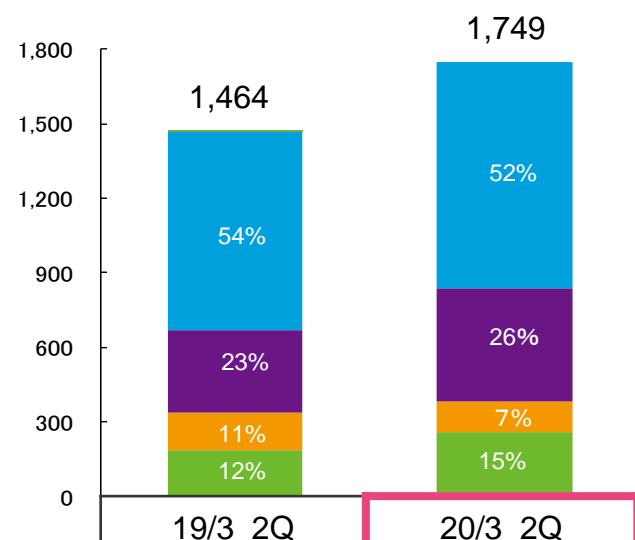
## <地域別>



■ 中近東・アフリカ	86	44
■ アジア・オセアニア	537	205
■ 北中南米	132	921
■ その他	270	19
海外 合計	1,025	1,189
国内 合計	439	560

## <分野別>

単位: 億円



エネルギー	■ LNG・その他ガス	795	913
	■ 石油・石油化学・金属	331	454
地球環境	■ 医薬・生化学・一般化学	157	124
	■ 環境・新エネ・インフラ・その他	181	258

## <主要案件>

	1,000億円以上	500億円以上	100億円以上
海外	-	-	キャメロンLNG、テキサス・エチレン ゴールデンパスLNG

# 8. バランスシート

単位: 億円

	19年3月末	19年9月末	増減
<b>【流動資産】</b>	<b>3,269</b>	<b>3,623</b>	<b>354</b>
現金及び預金等 * 1	695	1,000	305
営業資産三勘定 * 2	761	646	△116
未収入金	659	690	31
JV持分資産 * 3	1,110	890	△220
その他	44	398	354
<b>【固定資産】</b>	<b>254</b>	<b>256</b>	<b>2</b>
有形固定資産	117	128	11
無形固定資産	53	47	△6
投資等	84	82	△2
<b>【資産】</b>	<b>3,523</b>	<b>3,879</b>	<b>356</b>

	19年3月末	19年9月末	増減
<b>【流動負債】</b>	<b>3,925</b>	<b>3,288</b>	<b>△637</b>
短期借入金	1	1	0
営業負債三勘定 * 4	2,975	2,604	△372
工事損失引当金	676	451	△225
その他	272	232	△40
<b>【固定負債】</b>	<b>190</b>	<b>396</b>	<b>206</b>
長期借入金	159	358	199
その他	31	38	7
<b>【純資産】</b>	<b>△592</b>	<b>195</b>	<b>787</b>
株主資本	△609	139	748
その他	17	56	39
<b>【負債・純資産】</b>	<b>3,523</b>	<b>3,879</b>	<b>356</b>

**【注】**

- \* 1 現金及び預金等＝現金預金＋有価証券(譲渡性預金等)
- \* 2 営業資産三勘定＝受取手形・完成工事未収入金＋未成工事支出金
- \* 3 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金
- \* 4 営業負債三勘定＝支払手形・工事未払金＋未成工事受入金

<b>【自己資本】</b>	<b>△601</b>	<b>190</b>	<b>791</b>
<b>【自己資本比率】</b>	<b>△17.1%</b>	<b>4.9%</b>	<b>22.0pt</b>

## 9. 通期業績予想の内訳

単位: 億円

	19年3月期 実績	20年3月期 修正後予想	前期実績比
<b>受注高</b>	<b>7,716</b>	<b>5,500</b>	<b>△2,216</b>
海外	5,750	4,300	△1,450
国内	1,965	1,200	△765
<b>完成工事高</b>	<b>3,420</b>	<b>3,900</b>	<b>480</b>
海外	2,216	2,500	284
国内	1,204	1,400	196
<b>完成工事総利益</b>	<b>△1,811</b>	<b>360</b>	<b>2,171</b>
販売費及び一般管理費	△186	△170	16
<b>営業利益</b>	<b>△1,998</b>	<b>190</b>	<b>2,188</b>
営業外損益	68	△70	△138
<b>経常利益</b>	<b>△1,930</b>	<b>120</b>	<b>2,050</b>
特別損益・税金・ 非支配株主に帰属する当期純利益	△219	△60	159
<b>純利益</b>	<b>△2,149</b>	<b>60</b>	<b>2,209</b>

# 再生計画 6か月間の進捗報告

## —再生と未来に向けたビジョンへの取組み—

2019年11月5日

千代田化工建設株式会社



**CHIYODA**  
CORPORATION

© Chiyoda Corporation 2019, All Rights Reserved.

# 目次

---

1. 再生計画サマリー
2. 財務基盤の強化
3. EPC遂行管理力の進化
4. デジタルトランスフォーメーション
5. エンジニアリングの「新しい価値」への挑戦
6. 既存案件の遂行状況

# 1. 再生計画サマリー

## 再生の岩盤作り

- リスク管理体制の高度化
- EPC遂行管理力の進化
- 人財の高度化・拡充

## FY2023 (5年後)

- ◆ 安定的に年間純利益100～200億円の収益体質に変革
- ◆ 自己資本比率20%以上

## 長期ビジョン

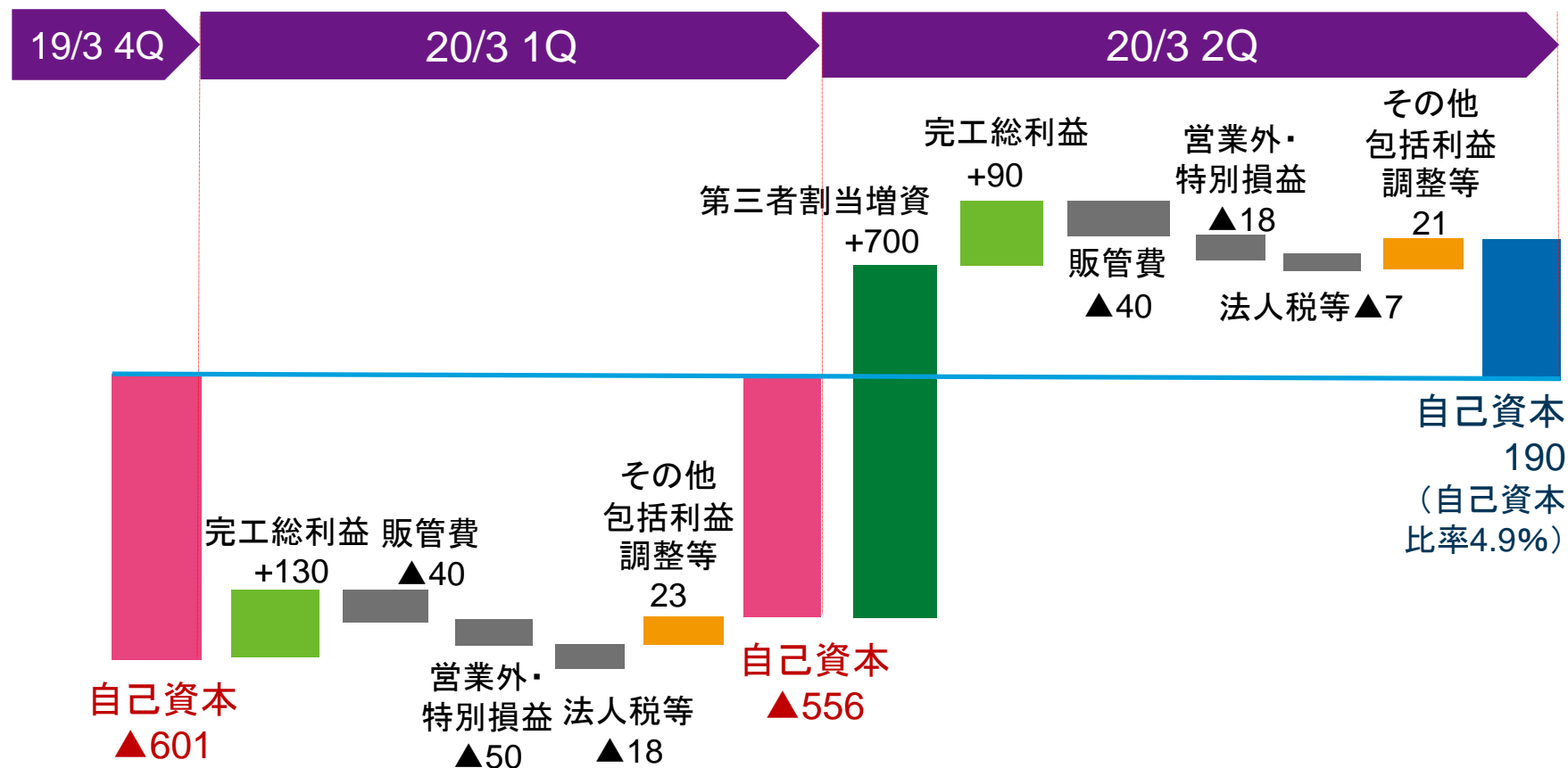
1. 顧客のアセット価値を実現・最大化するプロジェクトライフパートナー
2. 複雑なエネルギー制約に対して最適な複合システムを提供するインテグレーションパートナー
3. エネルギー・地球環境を解決する未来技術のインキュベーター

## 2. 財務基盤の強化

20/3 2Qで債務超過は解消、今後成長で財務基盤を強化

### 【自己資本増加分析】

(単位:億円)



# 3. EPC遂行管理力の進化

## 遂行体制を強化、競争力強化・差別化の施策を推進中

### 体制

- CCMO(Chief Construction Management Officer)を任命
- 「工事遂行力強化委員会」に社内関連機能を統合

### 取り組み

- 「Chiyoda AWP」: 米国Construction Industry Institutionが提唱するベストプラクティス(Advanced Work Packaging)に当社知見を融合させ、EPC業務プロセス・管理手法を見直し、遂行プロジェクトに適用。
- 工事IoT: RFID(Radio Frequency Identifier)を活用した資材管理の効率化。ビーコンを活用した労務・安全管理の向上。今後適用。
- 「Target 20」: 全社デジタル化により、EPC、管理部門の業務効率の20%向上を推進中。



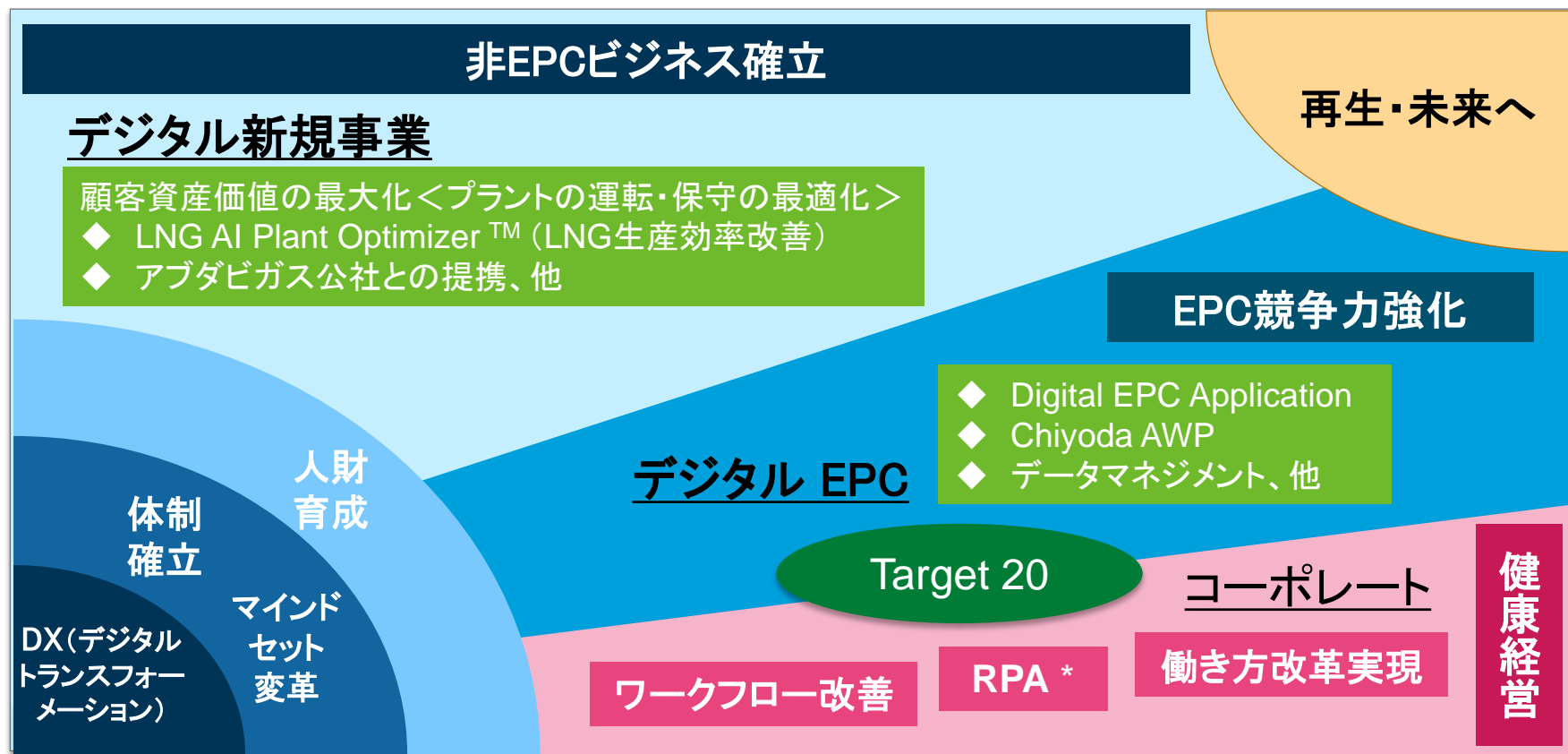
# 4. デジタルトランスフォーメーション

体制

デジタルトランスフォーメーション本部を新設

ビジョン

デジタル技術をベースとした再生計画の遂行とデジタルトランスフォーメーションの推進



Note) \* RPA: Robotics Process Automation

© Chiyoda Corporation 2019, All Rights Reserved.

# 5. エンジニアリングの「新しい価値」への挑戦

体制

フロンティアビジネス本部を新設

ビジョン

環境・エネルギー、社会・事業継承問題、ライフサイエンスの未解決課題を解決する。

コンピタンス

化学工学知見、技術開発、スケールアップ技術、技術目利きとインテグレーション

環境・エネルギー

- ◆ 需要拡大
- ◆ 気候問題
- ◆ 分散化

社会・事業継承

- ◆ 高齢化
- ◆ 技術伝承
- ◆ 地方停滞
- ◆ レジリエンス

ライフサイエンス

- ◆ 保険制度の持続性
- ◆ 難治療疾患

① 炭素循環社会を実現する技術・事業への取り組み

② 環境価値を重視する企業とのエコシステム形成

③ 再エネ主体の自立システムを実現する分散・複合型ユーティリティビジネスへの挑戦

④ 社会・顧客事業資産のサステナビリティを実現するソリューション事業

⑤ 医薬品開発加速、原価コスト低減、難治療疾患医薬の開発を実現する技術・事業への取り組み

ネットゼロエミッション社会の実現

レジリエントな分散・循環社会の実現

産業・地方が輝き続ける社会の実現

持続可能な健康社会の実現

## 6. 既存案件の遂行状況 (1/2)

プロジェクト	フリーポートLNG	キャメロンLNG
顧客	Freeport LNG	Cameron LNG
パートナー	Zachry, McDermott	McDermott
進捗率	第1系列・第2系列:約99% 第3系列:約96%	約96%
遂行状況 (9月時点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 第1系列:8月に生産を開始、9月に出荷開始。</li> <li>✓ 第2系列:2019年11-12月、第3系列:2020年1-3月に生産開始を予定。</li> <li>✓ 約4,500人の労働者が建設工事に従事。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 第1系列:8月に商業運転を開始。</li> <li>✓ 第2系列:2020年1-3月、第3系列:2020年4-6月に生産開始を予定。</li> <li>✓ 約5,900人の労働者が建設工事に従事。</li> </ul>

## 6. 既存案件の遂行状況 (2/2)

プロジェクト	タンゲーLNG	テキサス・エチレン	ゴールデンパスLNG
顧客	BP Berau	Gulf Coast Growth Ventures (ExxonMobilとSABICのJV)	Golden Pass Product (ExxonMobilとQPのJV)
パートナー	Saipem Tripatra	Kiewit	Zachry McDermott
進捗率	約65%	約40%	約4%
遂行状況 (9月時点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 予定納期は2021年7-9月。</li> <li>✓ 建設工事を本格的に遂行中。メイン熱交換器の据付を完了。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 予定納期は2021年10-12月予定。</li> <li>✓ 中国ヤードでモジュールを製作中。</li> <li>✓ 現場工事も開始。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 予定納期は2025年。</li> <li>✓ エンジニアリング業務を遂行中。</li> </ul>

この資料には、本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

千代田化工建設株式会社

IR・広報・CSR 部

Tel. 045-225-7734

<https://www.chiyodacorp.com/jp/>



© Chiyoda Corporation 2019, All Rights Reserved.

